

# うきだけ 浮嶽神社の古仏群

所在地/糸島市  
指定/有形文化財



浮嶽（唐津より望む）



左：如来形立像、右：地蔵菩薩立像

特徴です。他にも、<sup>まる</sup>円い顔つき優しい体つき、浅くて穏やかな衣のしわなど、平安時代後期（今から約 800 年前）の像の特徴をもつ如来形坐像や、近い時期に別の仏師が造った十二神将立像にしんしょうりゅうざうもあります。これらの古仏（※3）は、浮嶽の仏教信仰の歴史の生き証人です。そして福岡県内を代表する古仏群の一つです。

※1 霊山、※2 山岳信仰：「<sup>くぼてさん</sup>求菩提山」のページに説明があります。

※3 古仏：古い仏像。

【もっとくわしく調べたい】

○九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 Tel 0942-75-9501

【浮嶽神社に行ってみよう】

○JR 筑肥線福吉駅から徒歩 40 分

○二丈浜玉道路吉井インターから車で 5 分

浮嶽は、佐賀県との境の、糸島市二丈にそびえる<sup>れいざん</sup>霊山（※1）です。標高は 805.2 m。脊振山地の西の端に位置し、海を見下ろすように構えています。この山の中腹の集落の中に、浮嶽神社があります。

浮嶽は、<sup>さんかくしんこう</sup>山岳信仰（※2）と、航海の目印として海上交通安全にかかる信仰の聖地であり、いま神社だけで信仰を<sup>けいしやう</sup>継承して

います。かつて山内には、<sup>きやうあんじ</sup>久安寺（「きわじ」とも読む）という寺院も存在していたのですが、この寺は戦国時代（今から約 450 年前）に滅んだとされています。浮嶽神社には、久安寺に伝わったという、たくさんの古い仏像が受け継がれ、守り伝えられています。

<sup>にょらいぎやうりゅうざう</sup>如来形立像、<sup>にょらいぎやうざざう</sup>如来形坐像、<sup>じざうぼさつりゅうざう</sup>地蔵菩薩立像などは、厳しい顔つきや、もりもりと盛り上がった体つき、深く力強い衣のしわの表現、一本の<sup>かや</sup>櫃の木から彫り出している構造などは、平安時代前期（今から約 1200 年前）に造られた像の